

整理番号：1-3

提言題名：戸頭北保育所の廃止を白紙にしてほしい

【提言の内容】

2児の子供を育てている母親です。長男が通っている戸頭北保育所で、保育所の廃止を検討している話を伺いました。突然の話で大変驚き困惑しています。次男も保育所入所を希望していますが、現在入れず待機している状況です。

本当に急いで保育所を廃止する必要性はあるのでしょうか？6年間通わせるつもりで入所したのに、最後までいられないという不安があります。

もしも廃止になり、別の園に移動となった場合、そのルールで料金や必要な物が異なってきます。その時発生する精神的、金銭的なものは市で負担してくれるのでしょうか。今在籍している保育所の子や未来ある子供達、そして病気や介護、働いている私達親のためにも、今回の件が白紙になることを祈っています。

(令和元年12月受付)

【回答】

公立保育所の整備方針・整備予定を示す「第四次取手市保育所整備計画」策定にあたりまして、1月中旬から約1ヶ月間を予定とし、市民の皆様のご意見を伺う「パブリックコメント」を予定しております。それに先立ち、戸頭北保育所ご利用の保護者の皆様に、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について検討していくことをご説明させていただきました。

本当に急いで保育所を廃止する必要があるのかとのご意見につきまして、第四次取手市保育所整備計画を策定するにあたり、第三次取手市保育所整備計画でも課題でありました戸頭北保育所の老朽化対策について、保育行政推進検討委員会と児童福祉審議会に諮ってまいりました。施設の整備方針について、4つの中学校区域（取手第一中学校区域、取手第二中学校区域、戸頭・永山中学校区域、藤代・藤代南中学校区域）ごとに公立保育所1か所配置の考え方にに基づき、市の財政状況を勘案すると改築ではなく、計画期間内に廃止を検討していくことといたしました。

また、全国的にも保育士が不足していることもあり、取手市においても保育士確保が困難な状況にあります。待機児童発生の主な要因としましては、公立保育所の保育士不足により定員まで入所させることができないことがあげられます。廃止や民営化した公立保育所の保育士について、保育士が不足している他の公立保育所へ配置替えをすることで、待機児童の解消と更なる手厚い保育の実施や保育士の負担軽減が期待できます。

保護者の皆様にはご不安を与えてしまい申し訳ございません。もしも廃止となった場合の在園児の移籍に関しましては、できる限りの配慮をさせて頂きたいと考えております。金銭

的な負担を含めた具体的な事項については、今後の検討課題とさせていただきます。精神的なご負担に関しましては、丁寧にご説明させていただき誠意ある対応をまいりますので、何卒、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

(子育て支援課 令和元年12月回答)